校友会　上海支部例会報告

2020 年 6 月 24 日実施

1 月より湖北省武漢を皮切りに猛威を振るった新型コロナウィルスの影響下、春節後短くて約 3 週間、湖北省等では約 2 ヶ月の間、経済活動の停止/停滞を余儀なくされた。しかし国を挙げ徹底された行動制限やマスク着用、体温測定実施、及びスマートフォン&IT を活用した行動履歴把握等が奏功し、現時点では一部地域で感染報告が散見されるものの、ある程度制御された状態にある。

支部会員の中には未だ退避帰国中にある方、中国国内でも地区を跨ぐ移動制限下にある方等がおられるが、感染リスク低調化もあり、約 7 ヶ月振りに支部会を召集し、苦境に負けず仕事に従事されている校友計 10 名が参加。

今回は有名な日系蕎麦店「紋兵衛（上海虹橋本店）」にて開催。

話題はもちろん、今も行動制限下にある生活や仕事、また日本同様コロナ禍で急増したリモート会議、退避帰国中の帯同家族や支部会員の近況等に終始したが、会員各位の平素からのネットワークのお陰もあり、無事を確認できた。

暫くは新型コロナウィルスの感染状況を見ながら支部会を召集していくが、地域は違っても中国という同じ国で生活を送る同窓生、校友をつなぐ働きかけを引き続き行っていきたい。　（1993 年中国語学科卒　奥原崇之）

